

私を担当してくださった 素晴らしきケアマネさん その3



執筆 ▶ 葉山 靖明 ● (株)ケアプラネット
「デイサービスけやき通り」代表取締役



鹿児島の学会で シンポジストを頼まれて

今回は、私が「ケアマネジャー」という言葉を聞いてまず思い出す、とても印象深く、決して忘れることができない出来事を書きます。

私は福岡県に住んでいるのですが、発症2年後の2008年に、鹿児島市内の地域リハビリテーションの学会大会で、障がい体験とリハビリテーション体験についてシンポジストとして語ってみたいか、と医療関係者よりお誘いがありました。

もともと私は、簿記等の講師業でしたから、一度はあきらめた“講師”の仕事ができるという、言わば“晴れの舞台”でした。私がデイサービスけやき通りをオープンする3カ月前の2008年3月1日土曜日だったと思います。20分の予定を45分間も語りました。

驚いたことに、そこに福岡県の私の担当のケアマネさんが、来てくれたのです。先々月号からのケアマネさんインタビューのつづきを書きます。

—— 鹿児島へ来たのは、どういう経緯だったのでしょうか？

「鹿児島で講演があるって葉山さんから教えていただいたから、じゃあ黒豚食べよ！って思って（笑）。そんなノリで、友人と車に乗って。目的は講演とク・ロ・ブ・タです！（笑）」

その行動とその言いまわし、そして

そのお心遣いに感涙しそうになりました。福岡県宗像市と鹿児島県鹿児島市は約300km、車で片道5時間かかると思います。

「鹿児島県内の霧島温泉に泊まりました。一番は講演を聞かせてもらうために、その時間に間に合うように行きましたよ」（ケアマネさん）

仕事上の出張扱いとしてではなく、プライベートで行ったとのこと。つまり、自費だったそうです。そして、私にはまったく知らせず、しかも、会場で出会ったときは会釈を交わしたのみでした。

大勢の中でのその会釈も、そのときには私はよく分かっておらず、後にそのことを聞き、驚くとともに、感動しました。



自費で鹿児島まで！ その心は!?

「支援」とか「援助」とか、よく世間ではいいますが、このケアマネさんの行為こそがそれを言い表しているのだと、今でもそう思っています。

結局、本人を支えるといっても、支える人が主体で、アセスメント、プラン、実績では、（横着な言い方のようにですが）支援の形式を執っているということであり、芯から支えるということの本質とは違うように思えます。極端に書くならば、形式と実質の違いかもしれません。

葉山 靖明 はやま やすあき

1965年福岡県生まれの50歳。専門学校で法人税法及び簿記論の講師を務めていた2006年、40歳のときに左脳の脳内出血発症し右片まひに。翌年それまでの職場を辞して(株)ケアプラネット設立。現在は、デイサービス経営のかたわら講義・講演活動を継続中。社会福祉法人「夢のみずうみ村」役員。人間科学修士



2009年には90分間の講演をこなすまでに。このときも心のリハビリをテーマに語りました(静岡県にて)



本当の支援は 介護だけではなかった

人間の心理や脳や精神は、どういう構造になっているのかは、恥ずかしながら私は知りません。

しかし、介護保険の要介護被保険者の体験者として書かせていただきます。

人の支えが要る人を介護する保険。当然「介護」が要ります。

しかし、人の生きる力が弱くなったときには、支えのみではなく、本人が主体的に生きていこうとする意志、気概、動作、所作、大切な一歩や、未来を眺める眼差しをくみ取り、見定め、その環境をつくり、心で見守り、ときには承認し、ときに賞賛し、言葉で多くを伝えず、支援者の行動で、気概で、大切なものを伝える。

そういうものだと思います。

そういう私のケアマネさんに、この8年間ずっと、そして、これからもずっと、生きることを芯から支えていただくのでしよう。

このケアマネさんとの「出会い」を大切に生きていきます。

要介護者の私が勇気を持って(主体的に)世間の前に立ち、社会という得体もしれない大きなものに向かい、舞台に立ち、語る姿。その言わば「勇姿」を見守り、賞賛し、大切な経験を共有するという支援。最高です。

そして、来てくれたことが私の心に残り、その後何年間もずっと会わなくても支援、心で“支”え、心で“援”してくれていると感じることができます。

「奥様にはご挨拶しました。『来てくださったんですね〜!』って、もうとっても笑顔で言われて。奥様のこの笑顔を見て、来た甲斐があったな!って思いました」(ケアマネさん)

家族支援もあったのかもしれない。

発症後初めての講演でした。講演デビューでした。それから、8年間で、

200回の講演を行い、約2万人に語ったこととなります。余談ですが、そのおかげか失語症がかなり改善され、久しぶりに会った友人は、「葉山さん、なんでそんなに早くしゃべれるようになったの!？」と驚かれます。

「講演はしっかり聞かせてもらいました。立派でしたよ。堂々たる話しぶりで、あれが最初だったとは思いませんでした。行って良かった〜!って思いました」(ケアマネさん)

今、聞いているだけで頑張れそうなお言葉。

——しかし、会社の出張ではなく、自費なんですよ?

「いやいや、黒豚の魅力もあったから!(笑)、いやいや、私は動機が不純だったから…」

笑って答えてくれました。

今月の私

秘密兵器で草刈りやっています!

草たちとの熱き戦いの夏は今からが本番です!

草たちとの熱き戦いの夏は今からが本番です!
(>_<)

のみでどうにかやっています。しかし、刈っても刈っても草は生えてきます

当然、左手のみのone handですが、この電動草刈り機があれば大丈夫です!写真は草刈り機の底の部分ですが、危なそうな丸い刃がないでしょ? ちよつと見づらいかもかもしれませんが、糸のようなワイヤーが一本出ていて、それが回転し、草を切つてゆくのです。それと、肩にかけるヒモもあり、機械を体で支えて左手のみでどうにかやっています。



昨年からは始めた、庭の草刈り。昨年は毛虫や蚊にやられ、散々だったので、今年は長袖に首に帽子もちょっとロールさせてお洒落してやっています(^.^)